

令和3年度 第1回モア学園学校運営協議会 議事録

1	日時	令和3年11月17日(水) 午後3時～午後4時
2	場所	羽島中学校 図書室(北舎2階)
3	出席者	<p>12名(敬称略)</p> <p>大橋 和正(小熊コンセン協議会長)、浅野勝紀(小熊地区青少年育成推進員代表)</p> <p>長島 秀賢(足近地区主任児童委員)、田中 彰俊(地域コーディネータ)</p> <p>柳川 禎章(地域コーディネータ)、川瀬裕史(小熊小PTA会長)</p> <p>中村俊彦(足近小校長)、山中一悦(正木小校長)、番美智雄(小熊小校長)</p> <p>酒井 茂(羽島中校長)、大野 隆次(羽島中、主幹教諭)、</p> <p>渡邊 秀樹(羽島市教育委員会 教育支援センター所長補佐)</p>
4	議事	<p>1. 学校運営協議会会則、及び役員選出、承認 会長：田中彰俊 様 副会長：山中一悦(正木小校長)</p> <p>2. 基本方針(「羽島中学校区 小中一貫教育推進 構造図」より)承認</p> <p>3. 今年度の活動について (1) 各校の様子 【足近小】中村校長より ・運動会(11/20)、5年体験学習(12/2,3)、6年修学旅行(12/9,10)参加同意100%、 防災の日にシェイクアウト訓練の実施。4年、6年防災士さんによる出前授業。 【小熊小】番校長より ・運動会(10/21)、公表会(11/11)算数科の授業公開、5年体験学習(11/25)日帰り、 6年修学旅行(11/25,26)参加同意100%、 ・地域との関わり(さつまいも堀り、ビオトープの修繕、小熊音頭) 【正木小】山中校長より ・流行に挑戦しつつも不易を大切にしている。同志社大学の協力のもとバーチャル リアリティー体験の実施。志授業、読み聞かせの実施。 ・防災士を交えた命を守る訓練の実施。 【羽島中】酒井校長より ・2年若狭研修(6/23,24)、体育祭(10/19)コロナ及び熱中症対策、 3年修学旅行(10/29,30)、コロナ禍のため合唱祭は中止。 (2) モア学園「絆会議」12月17日実施予定</p> <p>4. 意見交流 ・絆会議は小中一貫教育を推進していく上で、大変意義がある。 ・絆会議は実施することに意義がある。無理をしたり、すぐに成果を求めたりしない。 ・絆会議の協議内容(地域のよさと課題)は子どもには難しいのでは。地域の大人でも難しい。子どもの率直な意見を求めるとよい。 ・コロナ禍でなかなか行事が進められない。若い方が地域に興味があるのかが心配。 ・命を守る訓練など、形式的な訓練になりやすいが、各校とも実践的な訓練となっている。 ・コロナ禍での教育活動は大変ご苦労である。先日、羽島中学校でコロナウイルス感染症による学級閉鎖があるとお聞きした。周りの子へ指導はどうされているのか。 →罹患者を詮索することではなく、互いを気遣う思いやりのある行動がある。</p> <p>5. ご指導(羽島市教育委員会 教育支援センター 所長補佐 渡邊秀樹 様) ・先日、学校運営協議会の推進協議会があった。子どものための持続可能なものにしていく。小さな活動を続けていくことが大切である。 ・ふるさと羽島、ふるさと羽島校区への愛着を生み出すことで地域が潤うことになる。 ・小学校では地域人材を招き、中学校では地域に出向くことで地域と関わりをもつ。 ・羽島市ではコロナによるいじめ事案はみられない。</p>
5	連絡等	・絆会議では、各校の学校運営協議会委員の中から参加を募る。